

平成30年度青少年ボランティア賞受賞団体・個人及び活動内容

<団体の部>

	団体名	活動内容
1	金沢市立 新堅町小学校 6年生	昭和47年の <u>鱒町交差点地下道</u> の完成を機に、 <u>6年生による地下道清掃活動</u> が始まり、祖父母世代から今日に至っている。4人が一組となり曜日担当で、毎朝、天候に関係なく行っている。地域の人と明るく挨拶を交わしながら、地域の環境美化と明るい社会づくりに大きく貢献している。
2	金沢市立 緑中学校	毎年2回の <u>古紙回収</u> では、各地域の指定集積所を回り、また、団地では生徒たちが出向いて回収するなど、住民から大変喜ばれている。また毎年、「 <u>二塚ジョンカラ</u> 」を保存会の指導のもと練習し、夏の行事で <u>披露</u> している。資源回収や伝統文化の継承を通して地域のコミュニティづくりに大きく貢献している。
3	輪島市立 東陽中学校	輪島市町野地区の「 <u>ふるさと五千人の祭典</u> 」に企画・運営の段階から参加し、学校を挙げて地域行事を推進している。また、 <u>老人ホーム</u> を訪問して「 <u>よさこいソーラン</u> 」を披露したり、修学旅行先では手描きパンフレットを配布して <u>輪島の観光名所や食材をPR</u> したりするなど地域の活性化に大きく貢献している。
4	石川県立 飯田高等学校 野球部	「 <u>地域ピカピカ運動</u> 」と銘打ち、毎週月曜日の朝、天候に関係なく <u>学校周辺やバス停の清掃</u> を行っている。また、 <u>鉢ヶ崎海岸の清掃活動</u> 、一人暮らしの高齢者宅や学校、バス停周辺の <u>雪かき等</u> にも取り組んでいる。地域住民からも喜ばれており、明るく礼儀正しい部員たちの活動は、地域に大きく貢献している。
5	金沢星稜大学 人間科学部 「池田ゼミナール」	学生たちは自主的に毎月1～3回、環境保全活動や子どもたちへの教育支援活動などの社会的活動を積極的、継続的に実践している。活動内容は、 <u>穴水町ボラ待ち櫓の再復興活動</u> 、 <u>農作業体験による非行少年立ち直り支援活動</u> など多岐にわたり、これらの活動は地域に大きく貢献している。
6	諸江地区子ども 会連合会ジュニア リーダー会	年2回の <u>諸江地区沿道の清掃活動</u> のほか、 <u>資源回収やユニセフ等の募金活動</u> を行っている。また、地域に伝わる「 <u>諸江住吉おどり</u> 」の継承や、 <u>提灯・太鼓行列、公民館夏祭り</u> 等の企画運営にも地域と連携しながら継続的に参加している。これらの活動は地域住民からも高く評価されており、地域に大きく貢献している。
7	上戸いかなてて (うえどいかなてて) (泉郡子ども 会)	毎週金曜日の夜8時から拍子木を鳴らし、「 <u>火の用心</u> 」と連呼しながら <u>集落の一人暮らし高齢者の身守りも兼ねた防火夜回り</u> を実施している。これがきっかけとなって子どもたちと高齢者との <u>コミュニケーション</u> が生まれ、 <u>方言かるた制作</u> へと発展するなど、伝統文化の継承や地域づくりに大きく貢献している。

<個人の部>

	氏名	活動内容
1	橋谷 衣美 (はしたに えみ)	平成19年から <u>金沢市子ども会連合会シニア委員会</u> に所属し、 <u>子ども会行事の企画・運営を積極的に支援</u> してきた。平成28年からは <u>シニア委員会委員長としてメンバーをまとめ牽引</u> している。その姿は子どもたちや他のシニア委員の模範となっており、青少年の健全育成に大きく貢献している。
2	市子 裕美 (いちこ ひろみ)	10年以上にわたり、 <u>旅(体験活動)</u> を通じた青少年の健全育成を目的とする <u>ユースホステル運動</u> を推進してきた。小学生対象の宿泊体験では、 <u>社会人スタッフとしてリーダーシップを発揮</u> し、行事の企画・運営に積極的に取り組む姿は、大学生スタッフの模範となっており、青少年の健全育成に大きく貢献している。